

「みどり戦略」の実現に向け、関係機関・専門家と連携し施策を推進

関係機関・専門家と連携し、みどり戦略の実現に向けて「農林水産分野におけるカーボン・クレジットの拡大」「有機農業」等を推進。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

「みどり戦略」推進チームを設置し、幅広い関係者との連携を密にし、本戦略への理解や実践的な取組を推進しているが、チラシ等での周知に留まり技術的な展開へと課題があるところ。このため、農研機構みどり戦略・スマート農業推進室、常陽銀行コンサルティング営業部、JR東日本水戸支社、那珂川沿岸農業水利事業所・茨城中部農地整備事業所等と連携し、農林水産分野におけるカーボン・クレジットの拡大、有機農業等の推進等に取り組むこととした。

○ 取組の内容

県が設置する「いばらきオーガニック推進ネットワーク」にオブザーバー参加して把握した課題に対し、関係機関・専門家と連携し、農業者、消費者、学生等に対する働きかけを行い、具体的に生産技術面ではJ-クレジット制度の方法論の一つであるバイオ炭の農地施用に着目し、県内農業高校に対して専門家を招いた現場実習を実施した他、流通面では鉄道会社の主催するマルシェに有機農家を紹介し販路開拓を支援した。

○ 効果・成果、今後の方向性

関係機関・専門家と連携した農業学校への出前授業など実践的な取組ができたことや、有機農業者とのネットワークを築いて販路を拡大。職業として農業の魅力、農業の可能性、農業への関心、SDGsを始めとする環境問題への意識が向上。農業関係高校の魅力やZ世代の強みを活かした多様な取り組みについて拠点ホームページ等で紹介。

茨城県内の農業関係高校の紹介（茨城県拠点ホームページ）



県立水戸農業高等学校での「みどり戦略」に関する出前授業の様子
(写真:令和5年8月)



県立農業大学校(長岡キャンパス)での「農業部第3回特別講義」の様子
(写真:令和5年10月)

体制図

